

1. 件名：ALPS 処理水海洋放出時の海域モニタリングにおける異常と判断する際の考え方に関する面談

2. 日時：令和5年2月6日（月）16時30分～17時10分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

放射線防護グループ

監視情報課

今井課長、細貝課長補佐、池田課長補佐、川村係長

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、大辻室長補佐、松田室長補佐、小西係長、塩唐松係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 7名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という。）と、ALPS 処理水海洋放出時の海域モニタリングにおける異常と判断する際の考え方に関して、前回面談（令和5年2月3日）で説明を受けた内容を踏まえ議論した。
- 東京電力は本日の議論を踏まえ、補正申請に向けて対応する旨の回答があった。

6. 資料：

- なし